

# \* 深よみめんこちゃん \*

深堀保育園で過ごすめんこちゃん達。今回は、ひよこ組とらいおん組のクラスからよみ解き、深堀していきます

## ～ひよこ組～

「きもちいいなあ！」

気温が高かったある日のこと。水の心地よさを感じられたらと思い、水道から水を出してみると早速興味をもったS君とIちゃんが、手で水面を叩いたり掴もうとしたりしていました。しばらくして服が濡れ始めたので保育者が水を止めると、自分で蛇口から水を出そうとする場面が…しかし、レバーを上げることができず、保育者の手を蛇口に持っていき、「ん！ん！（水を出して、もっと遊びたいの）」と要求します。保育者が水を出すと満面の笑みでまた、遊び始めました。その行動は何度か繰り返されました。仕草や表情、発声で自分の思いを伝え、保育者とのやりとりを楽しんでいます。

温かく丁寧な触れ合いを重ねる中で、子どもは身近な保育者に親しみをもち、より気持ちを通わせるようになって感じました。



こんなふうに育ってほしいなあ・・・

思いが伝わる心地よさを感じたり、感触遊びを楽しんだりしてほしいな！

## ～らいおん組～

「これってなんだろう？調べてみよう！！」

深堀神社で見つけた虫の名前が知りたくて園に持ち帰り、図鑑で調べることにしました。たくさんの図鑑を手に、「みつけたよ」「でも〇〇はこうなってるよ～違うかも」「ほんとだ！もっと探してみる」などと言いながら、特徴に気付いたり動き方におもしろさを感じたりして友達とやりとりを喜び子ども達でした。そして、とうとう探していた虫の名前はヤゴで、トンボの赤ちゃんとわかると「オニヤンマの赤ちゃんだったらいいなあ」と期待を膨らませる子どももいました。また、一緒に捕まえてきたカエルを調べていた子どもも「緑のカエルってアマガエルって言うんだよ！〇〇を食べるんだ！」と友達や保育士に調べてわかったことを知らせる場面もみられました。身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な発見を楽しんだり考えたりして、興味や関心をもっと膨らませていけるような機会を設けていきたいと思えます。



こんなふうに育ってほしいなあ・・・

身近な事象や生き物に対して、感動や気付きなどを友達と伝え合うことで、命を大切にする気持ちや探求心を養ってほしいな！